

地域の道に愛称

松^ひ下^ま町^ち自治^じ会^{かい} 看板^{かんばん}設置^{ていし}し^し美^み化^か推^い進^{しん}

沼津



「千本 学びの路」の看板を設置する住民＝沼津市内

地域に親しみを持ちながら美しいまちづく

りを進めようと、沼津市の松^ひ下^ま町^ち自治^じ会^{かい}（2

長）は8日、同町中心部を東西に抜ける市道の520区間に愛称を名付け、看板を設置した。

道路の愛称は「千本 学びの路（みち）」。

住民と同町内にある県立沼津西高、市立第二中、市立千本小の生徒児童が応募した100以上の案の中から採用した。看板は道路沿いの手すりや電柱の全6カ所に市や東京電力の許可を得て設置した。

住民約20人が参加した看板取り付けセレモ

ニーで、加藤会長は「多くの住民が子どものころから慣れ親しんだ道。これまでも清掃活動を行ってきたが、今後も愛情と責任を持って守っていききたい」と話した。

同自治会はこの取り組みを通して、官民協働で公共物を管理する「アダプト・プログラム」を広めたいとしている。

- ① 地域の道に愛称をつけた目的は何ですか。記事から理由を2つ書き出しましょう。
()
()
- ② 愛称を使うとどんな気持ちになりますか。
- ③ 学校の中や通学路に名前をつけてみましょう。

2012年7月11日朝刊 東部版

年 組 名前